

審査の結果の要旨

氏名 千代田 大尚

千代田大尚は、修士課程から博士後期課程にわたり、線虫をモデル動物として、PTCHD タンパク質が、分泌タンパク質のエンドサイトーシスを促進することで、その活性を抑制する機能を持つことを見出した。ヒトの PTCHD タンパク質をコードする *ptchd1* 遺伝子は、自閉症や知的障害の原因遺伝子であると考えられているが、その細胞機能に関しては不明な点が多く、千代田大尚の見出した知見は、*ptchd* の関与する生理現象や病態のメカニズム解明の糸口となることが期待されるものである。以上の発見が学位論文の中心となる内容である。これまでに、共第一著者として原著論文を一報発表し、さらに海外の大学との共同研究の成果を一報、および第一著者として本学位論文の主な成果をまとめた原著論文を一報、合計二報を現在投稿中である。学位論文は非常に論理的に記述されており、問題設定やそれに対する実験アプローチ、各データのプレゼンテーションなども学術論文として適切である。

よって本論文は博士（薬科学）の学位請求論文として合格と認められる。